

学校法人北都健勝学園 中長期計画 2015-



Hokuto Kensyo Gakuen

Since 1994

学校法人北都健勝学園 平成27年9月

北都健勝学園の理念・精神

学校法人北都健勝学園は、平成7年に新潟県村上市の多大なるご支援のもと、新潟リハビリテーション専門学校を発足させ、平成19年に新潟リハビリテーション大学院大学、平成22年に新潟リハビリテーション大学を設立し、「人の心の杖であれ」を礎に、統合医療、チーム医療を実現できる人材育成に力を注いでいます。これまでも、そしてこれからも北都健勝学園は、新潟リハビリテーション大学を拠点に地域社会、国際社会に貢献できる医療人の育成、保健・医療分野の研究に尽力し続けます。

School Motto

「人の心の杖であれ」

この精神を礎とした崇高な倫理観、
優れた医療人としての

厳格さと慈愛を併せもつ
全人教育を目指します。

Mission Statement

「からだをみて」「心をみて」
「社会をみて」ゆく、学園です。

統合医療、チーム医療を実現できる
人材育成が使命です。

地域社会、国際社会に貢献できる
医療人育成を目指します。

学校法人北都健勝学園エンブレム

2014年に新潟リハビリテーション大学1期生の卒業を記念し制定された。スクールモットーの土台となる“Nobless Oblige”にちなみ高貴な医療人としての精神をもとに、中央の盾には、右に北斗（北都）の星、左上には日本海の波と王冠をイメージし、新潟の海と山、太陽と自然を表し、左下には本学園の理念である心の杖を配した。また地域と世界への飛躍を願い、上部に白鳥、周囲には勝利を意味する月桂樹に学園発展の祈りが込められている。



【新潟リハビリテーション大学】
2007年開学にあたり制定された。病める人々の道しるべとなる光を、海員学校の跡地であることから灯台のあかりにみたてた。また、2本の杖を十字に重ねスクールモットーである“人の心の杖であれ”を土台とし、盾を中央に配置されている。



【新潟看護医療専門学校】
【新潟看護医療専門学校村上校】
2006年の新潟看護医療専門学校開学時に制定。イニシャルの「NNC」より躍動と世界に羽ばたくようよう願いを込めて羽がついている。この願いは新潟看護医療専門学校村上校へも受け継がれている。



【ディッパーズ（同窓会）】2004年に学園の10周年を記念し制定され、以来学園のシンボルとして愛されている。3匹の犬はそれぞれの学校と地域そして学生すべての連携を示し、本学園で育った人々をディッパーと称し、学園の未来を担う人々である。

中長期計画について

本学園の理念、精神を踏まえ、2015年から10年間で実現すべきカテゴリーを4つに分けました。今後はカテゴリー毎の施策の進捗状況について学園内外からの評価を段階的に導入しながら、適切な情報公開をいたします。

実現すべき4つのカテゴリー

A.地域貢献

B.教育研究環境整備

C.国際化

D.組織整備・人材育成



A. 地域貢献

医療系の高等教育機関であることの強みを生かし、今後は、これまで以上に活発な地域連携の強化にあたり、高齢者、発達教育の支援に尽力いたします。

1. 村上市との包括連携協定の締結

新潟リハビリテーション大学と村上市は包括的な連携のもと、継続的な相互協力を推進することにより、地域の課題解決や人材育成を図り、地域の活性化を推進することを目的に連携協定を結び、これまで以上に地域に根ざした大学作りを推進します。(平成27年7月30日協定締結)



2. 高齢者支援

平成23年4月より村上市老人クラブ連合会と連携して転倒予防を目的とした「転ばぬ筋力アップ教室」を地域にお住まいの高齢者を対象に月2回程度実施するなど、様々な取り組みを計画、実施していきます。



3. 発達教育支援

近年、注目はされているものの、まだまだ理解が浅いとされている「自閉症スペクトラム障害」に対して、本学園設置の新潟リハビリテーションクリニックでは、完全予約制のメリットを生かし、時間をかけ、わかりやすい説明を心がけて安心してお任せいただくことができるよう、全力で診療にあたります。

岩船小学校・中学校との連携を深め、双方がより積極的な教育活動を展開できるよう、文教地区の基盤づくりを推進します。

スクールモットーである「人の心の杖であれ」具現化するためにも、幼児教育から予防治療の知識を生かす必要があると考え、包括的な一貫教育を目指します。



4. 文化的貢献

本学園では、学生が地域の伝統的な祭礼に積極的に参加し、地域を知り、地域の人たちとコミュニケーションを図ることにより、社会人としての基礎を形成しています。また、教職員も学生とともに以下のような地域の活動を共有することで、密接な関係が構築できるよう心がけています。

- ・村上大祭、岩船大祭ボランティア参加
- ・粟島浦村ボランティア活動
- ・飛行場における救急活動ボランティア
- ・地域の清掃活動への参加
- ・村上・笹川流れトライアスロン大会へのボランティア参加



B. 教育研究環境整備

情報インフラの整備をはじめ、学際的な教育研究組織構築などが求められています。時代の変化に対応して学生が身につけるべき能力を育み、学生一人ひとりがより充実したキャンパスライフを送ることができるよう、本学園では今後10年間で以下の取り組みを実行し、地域における学術・情報を発信できる拠点としても努力いたします。

- ・新潟リハビリテーション大学新校舎建設
- ・チーム医療を強化させるための学科、コースの順次拡大
- ・国際的な病院(クリニック)の開設による臨床と研究の強化
- ・新潟看護医療専門学校駐車場拡充及び東洋医療センター移設
- ・外部資金獲得の強化、研究成果発表への支援



C. 国際化

近年、我が国ではグローバル化の進展に伴い、大学の国際化が求められています。本学園においても、国際交流の活性化や国際的に活躍のできる人材の育成は急務であると考えており、本学園における国際化の推進のために以下の計画を展開していきます。

- ・アジア圏の大学、企業との協力提携、
産学連携によるグローバル化の促進
- ・海外の病院等との事業提携、協力関係の構築
- ・留学生受入の拡大
- ・国際的なセミナーの定期的開催、海外からの講師招聘

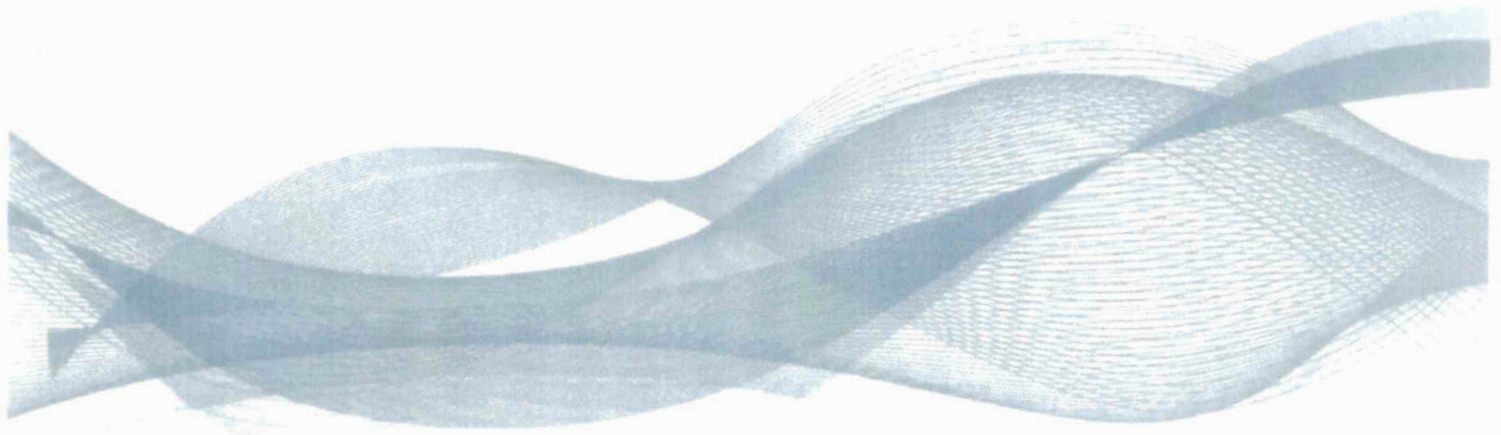


D. 組織整備・人材育成

時代の変化に積極果敢にチャレンジする精神と、現状を改善・改革する意識を備え、社会の期待に応え、学園の発展に寄与する責務があるとの意識をもった教職員の育成強化に努めます。

学園卒業生との繋がりを深めるために、卒業生のネットワークシステムの構築を目指し、同窓会機能を強化します。

外部資金、寄附金その他の自己収入の増加に関する目標を達成するための組織を構築します。



Hokuto Kensyo Gakuen

Since 1994



学校法人北都健勝学園

- ・新潟リハビリテーション大学/大学院
〒958-0053 新潟県村上市上の山 2-16
 - ・新潟看護医療専門学校
〒950-2264 新潟市西区みずき野 1-105-1
 - ・新潟看護医療専門学校 村上校
〒958-0052 新潟県村上市八日市 15-92
-